

子どもの事故実態調査の方法に関する検討

(分担研究：小児の事故とその予防に関する研究)

衛藤 隆* 山中 龍宏**

要約 小児の事故の実態を把握するための標準的な調査方法の開発のため、昨年度試作した「小児の不慮の事故に関する調査」調査表を再検討し、新たに「子どもの事故に関する調査」という改訂版の調査表を作成した。本調査表を用い、静岡県焼津市保育園協会加盟の公立および私立の10保育所の協力をえて、平成2年4月1日より平成3年3月31日までの1年間、前方視的実態調査を行う体制を整えた。

見出し語：事故、調査方法、実態調査、保育所

研究目的 小児の事故の実態を的確に把握するための標準的な調査方法の開発をめざし、異なる地域における調査の集計を可能ならしめ、全国レベルでの小児の事故の実態を浮き彫りにできるようにすることを主な目的とする¹⁾。昨年度試作した「小児の不慮の事故に関する調査」調査表(保育所・幼稚園用)¹⁾を予備調査の結果を考慮し検討し直し、改訂する。これを地域の保育所に配布し、調査を行う。

研究方法 改訂した調査表(幼稚園・保育所用)を静岡県焼津市保育園連盟に加盟する公立および私立の10保育所に配布し、保育所における事故・中毒の発生状況とその処置について調査を行う。調査期間は平成2年4月1日から平成3年3月31日までとする。

結果 調査表は、昨年度のものに以下の点の修

正を加え、添付資料に掲げるものを改訂版として作成した。(実物はB4版2つ折り表裏4ページ)

1. 家庭用との兼用を廃し、保育所・幼稚園用とした。
2. 事故の種類についての質問について、答えやすいよう表現・配列を工夫した。
3. 事故の発見者に「祖父母」を加えた。
4. 「事故発生時に養護者が何をしていたか」という問いを廃止した。

現在、調査票を配布し調査を開始したところである。

考察 子どもの事故に関する情報を経時的に把握することは、効果的な事故防止対策を考える上で大変重要である。事故の調査の場合、苦慮する点は2つあり、まず調査対象者(今回の場合は保母)がどのような事象を事故ととらえるか、個人によって幅があることと、事故の種類が非常に多く、その分類をいかにするかという点がある。今回改訂した調査表においても、これらの点はなお解決すべき問題として残っている。焼津市における調査の結果を分析し、さらに調査表・調査方法に関する検討を行いたい。

* 国立公衆衛生院母子保健学部 (Department of Maternal and Child Health, The Institute of Public Health)

** 焼津市立総合病院小児科 (Department of Pediatrics, Yaizu Municipal Hospital)

文献

1) 高野 陽、衛藤 隆、山中龍宏：小児の事故防止対策システムの試みに関する研究. 昭和63年度厚生省心身障害研究「小児期の主な健康障害要因に関する研究」報告書（主任研究者：小

佐野 清）、p.156-159, 1989.

2) 衛藤 隆、高野 陽、山中龍宏：小児の事故発生情報の経時的把握システムに関する研究（第1報）本邦と欧米における事故・中毒研究についての比較. 日本小児科学会誌, 93: 783, 1989.

Abstract

A Study for the Method of Investigation into Accidents in Childhood

Takashi Eto* and Tatsuhiro Yamanaka*,**

In order to know what kind of accidents happen in children, we tried to prepare a questionnaire using in nursery home or kindergarten in 1989. We have modified this questionnaire and we are going to investigate real accidents in ten nursery homes in Yizu city in Sizuoka Prefecture using this new form.

10. 事故が起こった時の様子について (できるだけ具体的に詳しく書いてください)

*

11. 最初に発見した人はだれでしたか?

- [a. 教師・保母, b. 看護婦, c. その他の職員, d. 他の園児, e. 母または父, f. 祖父母, g. 他の園児の保護者, h. その他 (具体的に)] → ()

[事故後の処置についておたずねします]

12. 事故後どのような処置をしましたか?

- [a. すぐに病院・診療所を受診した, b. 園で応急処置をした後病院・診療所を受診した, c. 園で応急処置をして様子をみた, d. 特に何もせず様子を見た, e. その他 ()]

13. 事故後の処置について誰かに相談しましたか?

- [a. 相談した, b. 相談しない]

↓

「相談した」のは誰にですか?

- [a. 医師, b. 歯科医師, c. 保健婦・助産婦・看護婦, d. 上司・同僚, e. 当該児の親・祖父母, f. 中簿110番, g. その他 ()]

[以下の14~16は病院または診療所を受診された場合のみお答え下さい。該当しない方は17へ]

14. 病院・診療所に行く時の交通手段は何ですか?

- [a. 救急車, b. タクシー, c. 自家用車, d. 徒歩, e. その他 ()]

15. 病院・診療所ではどのような処置を受けましたか? 知り得た範囲で簡単に御書き下さい。

*

16. 何日通院または入院したかについてお尋ねします。

1) 入院 → (a. した) → () 日間, b. しない)

2) 外来通院 → (a. した) → () 日間, b. しない)

[すべての方がお答え下さい]

17. 事故による身体の状態への最終的結果についてお尋ねします。

- [a. 軽快, b. 後遺症 (), c. 死亡]

18. 中簿110番を知っていますか?

- [a. 知っている, b. 知らない]

19. 処置について中簿情報センター (中簿110番) を利用しましたか?

- [a. 利用した (つくば, 大阪大学), b. 利用しない]

注: つくば中簿110番 0238-52-9999, 大阪中簿110番 06-451-9999

20. このお子さんには今回の事故以前にも事故にあったことがありますか?

- [a. あり, b. なし] *
- ↓ 内容 ()

21. この事故の再発を防止するためには、具体的にどのような点に留意すべきとお考えですか。御意見をお書きください。

*

[貴幼稚園・保育所名と連絡先をご記入ください (ゴムの印でも結構です)]

園名

所在地 (〒)

電話番号

◆ ご協力ありがとうございました ◆



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約 小児の事故の実態を把握するための標準的な調査方法の開発のため、昨年度試作した「小児の不慮の事故に関する調査」調査表を再検討し、新たに「子どもの事故に関する調査」という改訂版の調査表を作成した。本調査表を用い、静岡県焼津市保育園協会加盟の公立および私立の10保育所の協力をえて、平成2年4月1日より平成3年3月31日までの1年間、前方視的実態調査を行う体制を整えた。